

放課後等デイサービスの大切な役割について

埼玉県特別支援教育推進専門員

黒須 文夫

私は、月に数回、アドバイザーとして株式会社 未来サポートの3教室で支援をしています。

その中でスタッフのお子さんへの支援の内容や方法についてアドバイスをさせていただいています。私は肢体不自由や特別支援学校に長く勤務しておりましたが、子どもの成長は家庭での生活と学校での教育が大切であると考えてきました。しかし退職して外部から学校を眺めたとき、現役では気づかなかったことに改めて「気づかされる」ことが少なくありません。その一つが、放課後等デイサービスの役割です。

学校の放課後に、放課後等デイサービスで過ごす時間は、1週間では相当な時間になります。さらに土曜日や長期休業日に過ごす時間を合わせると、学校で過ごす時間と比較できるほどの時間数になります。そのことを考えると、子どもたちが放課後等デイサービスで過ごす時間に、どのような支援を行うかによって、その子の成長への影響はとても大きなものであると思うようになりました。

放課後等デイサービスは、障害のある子どもたちを安全第一にお預かりすることは言うまでもありませんが、だからといって、ただ預かって時間を過ごすだけでは、この長い時間はとてももったいないと思います。そういう考えのもと、私は未来サポートのスタッフには、障害のある子どもへの関わり方や声かけの方法、具体的な支援の方法等についてアドバイスをしています。小学部1年生から高等部の生徒さんまで預かる中で、全ての子どもに同じ言葉遣いではいけませんね。障害の程度や生活年齢に応じた言葉遣いを全スタッフで共有して実践していくことがとても大切なことだと思います。

さらに子ども一人一人の課題を正しく理解することが必要です。一人一人の子どもの課題を理解すればその課題を少しでも改善するための支援方法につながります。子どもの成長につながる認知学習や感覚学習、さらには運動機能の学習やコミュニケーション学習等、取り組む支援内容はたくさんあります。

未来サポートでは、市販の教材教具ばかりでなくスタッフ手作りの自作教材も準備して、一人一人の子どもにあった支援に取り組んでいます。学校からの宿題を消化するだけが放課後等デイサービスの仕事ではないと思います。

未来サポートの3教室には、小学部低学年のお子さんがいらっしゃいます。時々お会いするそのお子さんたちの言葉の成長には驚かされます。言葉の数が会う度に増加し、さらに明瞭になってきているのです。言葉だけでなく他者への働きかけも積極的になってきています。家庭での生活や学校での教育だけでなく、未来サポートでの支援の成果でもあると思います。

私の現職時代の経験からも、障害のあるお子さんの成長にとって小学部低学年はとても大切な時期だと思います。この時期に学校と放課後等デイサービスがお子さんの支援の方法について連携して効果的な実践ができれば、障害の程度に関わらず、少しでも成長が期待できるのではないのでしょうか。

小さな大切なお子さんをお預かりしたからには、お子さんの成長に少しでもお手伝いをしたいという気持ちを、未来サポートのスタッフ全員が共有することがとても大事なことだと思います。そのような自覚を持って今後も取り組んでいくように指導していきたいと思っています。